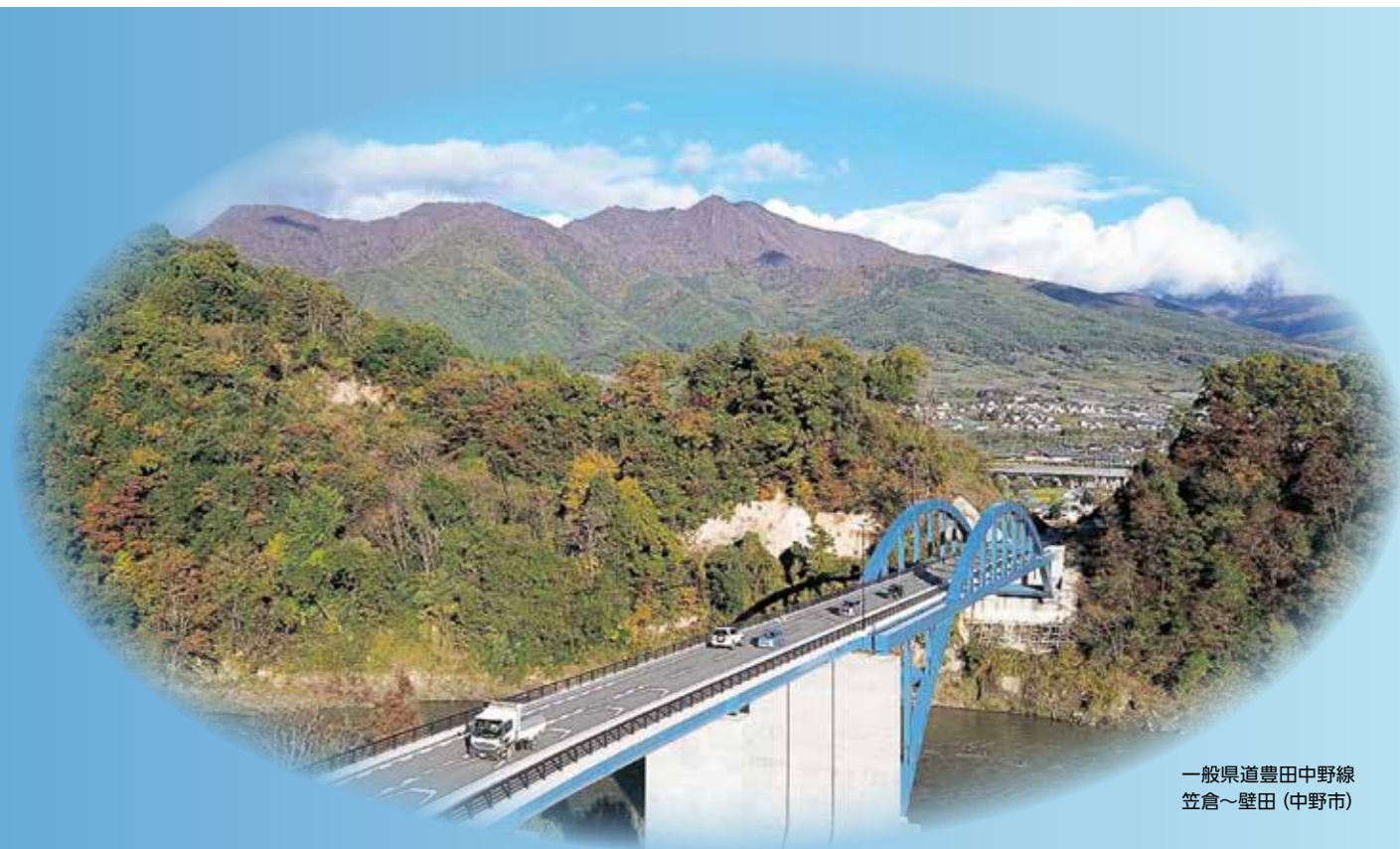


信州のみち



一般県道豊田中野線
笠倉～壁田（中野市）

巻頭言

- 道路ネットワークの構築に向けて 1
長野県道路整備期成同盟会 会長 山岸 喜昭

時の話題

- 松本糸魚川連絡道路（大町市街地区間）について 1
長野県建設部道路建設課
ワイズネット
WISNET2050 2
長野県建設部道路建設課（紹介）

供用箇所の紹介

- 国道 254 号 荻窪バイパス・平井バイパス開通 3
上田市長 土屋 陽一
荻窪バイパス建設推進委員会 会長 中村 良隆

- 諏訪湖サイクリングロード開通 3

岡谷市長 早出 一真
諏訪市長 金子ゆかり
下諏訪町長 宮坂 徹

- 長野自動車道筑北スマートインターチェンジ完成 4

筑北村長 太田 守彦
筑北村西条地区 区長 横山 充

- 一般県道豊田中野線 笠倉壁田橋開通 4

中野市長 湯本 隆英
一般県道豊田中野線建設促進期成同盟会 会長 原澤 年秋

地域の道から

- 道の駅の紹介 5

八千穂高原

- 日本風景街道の活動状況 6

千曲川・花の里山風景街道、信州ビーナスライン茅野



道路ネットワークの構築に向けて

長野県道路整備期成同盟会 会長 山岸 喜昭

本同盟会の活動に対し日頃より御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年の「命と暮らしを守る道づくり全国大会」、「安全・安心の道づくりを求める全国大会」などの活動に、多くの市町村長の皆様に参加いただき、道路整備の機運を大いに高めることができ重ねて御礼申し上げます。

さて、近年は令和6年能登半島地震をはじめ、台風や線状降水帯などにより、大きな災害が相次いで発生し、南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど大規模地震への備えも求められる中、より信頼性の高い道路づくり、災害時に地域を孤立させない道路ネットワークの確保が、一層重要となっています。

加えて、最も基礎的な社会資本である道路を、良好な状態で次世代へ継承していくことが我々の責務であり、道路施設の長寿命化を図るべく老朽化対策を推進していく必要があります。

こうした中、国の令和7年度道路関係予算において、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図るため、令和6年度補正予算と合わせて、道路整備を重点的・集中的に対策を講じる財源が確保されたことは、我々の強い思いが反映されたものと確信しています。

人口減少下において、地域を維持・発展させていく上で、道路は極めて重要なインフラです。産業の育成、生産性向上の観点などからも、県土の骨格を形成する高規格道路から生活に密着した市町村道に至るまで、県内道路ネットワークを確実に構築していくことが重要です。

今後も、道路整備及び管理を着実に進めていくためにも安定した予算の確保が課題であり、国で策定が進められている国土強靱化実施中期計画の中で、必要な規模、期間を定めることが肝要であり、そのためにも本同盟会としてもこれまで以上に活動してまいりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

長野県建設部 道路建設課

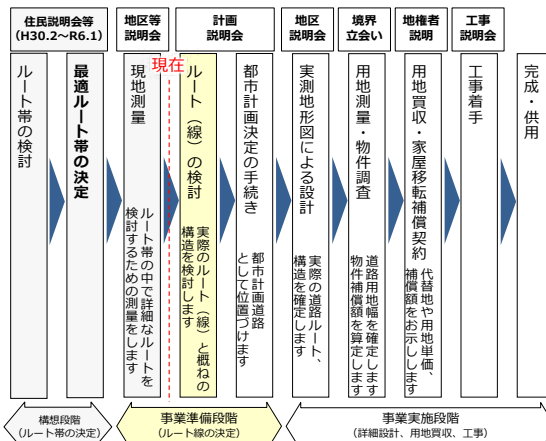
松本糸魚川連絡道路 (大町市街地区間) について

松本糸魚川連絡道路は、長野県松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの地域高規格道路です。

大町市街地区間 (約9km) については、令和6年1月に最適ルート帯を決定しました。今後は、関係する地域の皆様と意見交換をしながら、実際のルート線と概ねの道路構造を検討してまいります。



松本糸魚川連絡道路(大町市街地区間)の最適ルート帯



松本糸魚川連絡道路(大町市街地区間)の事業の進め方

ワイズネット WISNET2050

“2050年、世界一、賢く・安全で持続可能な基盤ネットワークシステム”をWISNET(ワイズネット)と位置づけ、その実現のための政策展開により、新時代の課題解決と価値創造に貢献するものとして、国土交通省が令和5年10月にWISNET2050・政策集を公表しました。

WISNET : **W**orld-class **I**nfrastructure with **3S**(Smart, Safe, Sustainable) **E**mpowered **N**ETwork

WISNETのコンセプト



WISNETの要点

- シームレスネットワークの構築
サービスレベル達成型の道路行政に転換、シームレスなサービスを追求します。
- 技術創造による多機能空間への進化
国土を巡る道路ネットワークをフル活用し、課題解決と価値創造に貢献します。

求められる役割

- 経済成長・物流強化
- 交通モード間の連携強化
- 自動運転社会の実現
- 道路の枠を超えた機能の高度化複合化
- 地域安全保障のエッセンシャルネットワーク
- 観光立国の推進
- 低炭素で持続可能な道路の実現

これからの高規格道路に求められる役割を発揮していくため、これまでの枠組みを超えた政策展開を図ります。



詳しくはこちらです





国道254号 荻窪バイパス・平井バイパス の開通に寄せて

上田市長 土屋 陽一

国道254号「荻窪バイパス・平井バイパス」の全面開通に当たり、ご協力をいただきました地権者の皆様、また、これまで事業推進に多大なご尽力をいただきました長野県をはじめ関係の皆様に、深く感謝申し上げます。

本路線は、首都圏と本県を結び、県土の中央部を東西に横断し、物流や交流はもとより地域振興と観光面からも極めて重要な幹線道路であり、災害時における緊急輸送道路でもあります。また、上田市の東内～西内地区では生活幹線道路としても使用されており、令和元年東日本台風による豪雨では現道が被災するなど、地域住民の生活や物流に多大な影響を及ぼしました。

この度の開通により、地域住民の安全・安心が確保され利便性向上が図られることはもとより、地域の観光振興や広域的連携による地域経済の活性化に大きく寄与するものと期待しております。



荻窪バイパス



平井バイパス



荻窪バイパス建設推進委員会
会長 中村 良隆 様

国道254号 荻窪バイパス・ 平井バイパスの開通に寄せて

集落内を通る国道254号は、昭和 51年に三才山トンネルが開通して以来、主要幹線道路として大型トラックを含む交通量が非常に多く、騒音、振動及び急カーブの交通事故など、生活環境への影響が課題でありました。

この度、長年の懸案でありました荻窪・平井バイパスが完成したことにより、安全で安心な生活環境が確保されましたこと、衷心より厚く御礼を申し上げます。

ご尽力を賜りました長野県、施工業者など関係する全ての皆様、また、バイパス用地として貴重な財産を提供いただいた地権者の皆様に深く感謝を申し上げます。

諏訪湖サイクリングロードの開通に寄せて

岡谷市長 早出 一真

諏訪市長 金子 ゆかり

下諏訪町長 宮坂 徹



長野県、諏訪市、下諏訪町及び岡谷市で整備を進めてまいりました諏訪湖サイクリングロードが、関係の皆様をはじめ、地域の皆様のご理解とご協力により、昨年4月1日に全線開通となりました。

諏訪湖畔は、誰もが気軽に快適に、サイクリングやジョギング、ウォーキングを楽しめる環境が整ったことから、地域の皆さんをはじめ、諏訪湖を訪れる多くの観光客で賑わっております。その中でも、岡谷湖畔公園から望む諏訪湖と八ヶ岳は、四季折々の風景を楽しむことができ、SUWAKOモニュメントの設置により、人気の写真スポットにもなっております。ご家族やご友人と是非お越しください。

本事業の推進にあたり、多大なるご支援とご協力を賜りました全ての皆様に改めて感謝申し上げます。



岡谷市 岡谷湖畔公園周辺



日本列島の“おへそ”、ともいわれる諏訪湖は古くから沢山の伝説や自然現象で人々を惹きつけて参りました。葛飾北斎はその浮世絵に遠く富士山を描いていますが、走馬灯のように変わる景色は北アルプス、八ヶ岳、小波に煌めく夕日と水鳥など、飽きることがありません。

令和6年4月1日、この諏訪湖に、待ち望まれた諏訪湖サイクリングロードが開通しました。ご尽力いただいた国や県をはじめ、岡谷市、下諏訪町、そして多くの関係機関の皆様にご心より深く感謝申し上げます。これを契機に、これからは協力しあって安全、快適で通勤通学、健康増進、観光振興、賑わい創出と、皆様に愛され、更に魅力あふれる諏訪湖と湖周の創出に取り組んで参ります。



諏訪市 湖畔公園足湯周辺



諏訪湖サイクリングロード開通にあたり、長野県をはじめ関係各位の多大なご尽力に、心から感謝を申し上げます。自転車は、日常の通勤・通学、買い物からサイクリング・観光など様々な場面で利用され、近年ますますその利用ニーズが高まっており、諏訪湖周は、春には満開の桜、夏には鮮やかな草木の緑、秋には深紅の紅葉、冬には雪化粧の山々とその姿を映す湖面、そして富士山や八ヶ岳と四季折々の景色や眺望がサイクリストはじめ多くの皆様に愛されております。

また、諏訪湖サイクリングロードは、Japan Alps Cycling Roadのルートにも位置付けられており、自転車を活用した更に魅力あるまちづくりに寄与するものと期待するとともに、皆様に末永く愛されるサイクリングロードとなることを心から祈念いたします。



下諏訪町 みずべ公園周辺



長野自動車道筑北 スマートインターチェンジ 完成に寄せて

筑北村長 太田 守彦

このたび、長野自動車道筑北スマートインターチェンジ（以下、SIC）が、関係者をはじめ地域の皆様のご理解とご協力を賜り、供用開始となりました。

長野自動車道は、県の南北を結ぶ大動脈として平成5年に全線開通しました。

このうち、安曇野インターと麻績インターの区間（23.2km）は、県内でも最長区間であったため、平成17年に緊急車両専用の進入路を整備していただきました。その後、ETCカードの普及とともにSIC設置機運が高まり、要望活動を平成26年から進めてまいりました。

平成30年8月に国土交通大臣による連結許可から約5年4か月の歳月を費やした筑北SICは、ETC専用では県下初となる本線直結型で、ラウンドアバウトによる誤進入防止機能などの、最新技術が導入された「努力と英知の結晶」であります。

筑北村は旧3村が合併して20年を迎え、過疎化と高齢化が進む農山村ではありますが、SICの整備を契機として、さらなる村の活性化と住民福祉の向上に努めてまいります。

皆様には、村の新しい玄関口となる筑北SICのご利用をお願い申し上げます。



筑北村 西条地区
区長 横山 充 様

長野自動車道筑北スマートイン ターチェンジ完成に寄せて

一昨年12月17日、待望の長野自動車道筑北スマートインターチェンジが開通し、地域住民も大変喜んでおります。特に坂北・本城地域では、松本方面が生活圏であることから、通勤や通院、買い物等がたいへん便利になりました。

本地域は、中山間地で過疎化が進んでいますが、今後、筑北スマートインターチェンジの利用が進むことで、さらなる活性化を大いに期待します。

本事業にご尽力いただきました皆様方に、深く感謝申し上げます。



一般県道豊田中野線 笠倉壁田橋の開通に寄せて

中野市長 湯本 隆英

一般県道豊田中野線「笠倉壁田橋」の開通に当たり、御協力をいただきました地権者の皆様、また、これまで事業推進に多大な御尽力をいただきました長野県をはじめ関係の皆様、深く感謝申し上げます。

「笠倉壁田橋」の完成により一般県道豊田中野線が全線供用となり、千曲川に隔てられた中野地域と豊田地域との連携が飛躍的に向上するとともに、災害時の緊急道路として、さらには北陸新幹線飯山駅へのアクセス機能が強化された広域観光道路となるなど、本市の発展に大きく寄与するものと期待しております。



一般県道豊田中野線建設促進期成同盟会
会長 原澤 年秋 様

一般県道豊田中野線 笠倉壁田橋の開通に寄せて

一般県道豊田中野線は中野地域と豊田地域を結ぶ幹線道路として、また、本市の発展にとって必要不可欠な道路として「笠倉壁田橋」の早期完成を本同盟会では強く要望して参りました。

この度、「笠倉壁田橋」の開通にあたり、長年にわたり道路整備を促進いただきました長野県の皆様をはじめ、関係各位に改めて感謝申し上げます。



道の駅の紹介



八千穂高原（佐久穂町）



2024年9月27日にオープンした道の駅八千穂高原は、中部横断自動車道・八千穂高原ICの程近く、国道299号沿いに、長野県と佐久穂町が一体整備した県内54番目の道の駅です。

24時間いつでも利用できるトイレなどを備えた道路休憩施設に、地域経済の振興と多様なコミュニティ活動の拠点となることを目的に施設を配置しました。

中心となる直売所には、地元農家が栽培した旬の野菜や色とりどりの季節の味覚が所狭しと並び、お昼どきのレストランでは信州サーモンや佐久穂豚などの地元食材をふんだんに使った料理が人気です。コーヒーの香り漂うビジターセンターやアウトドア用品専門店も県内外のお客様に親しまれており、開業から1か月で11万人のお客様にご来場いただきました。



また、建物2階には屋内型公園やキッズトイレを設え、雨の日でもゆっくりと寛ぐことができ、特にご家族連れに親しまれています。加えて、有事の際は100人以上が一時避難所として利用することも可能です。

南佐久エリアの観光ネットワークの出発点、北八ヶ岳などの豊富なアウトドア資源をつなぐ出発点として、利用者にご満足いただける道の駅を地域一丸となって作り上げてまいりますので、道の駅八千穂高原にぜひお越しください。

HPアドレス <https://yachi-michi.com>



日本風景街道の活動状況

千曲川・花の里山風景街道

令和5年度 関東優秀活動賞（地域活性化への寄与部門）受賞

活動名：フラワーロード・ガーデン事業

活動内容の紹介

地域が全国に誇る里山の風景や沿道の花々によって彩られる「花街道（国道117号）」を中心に、美しい景観、豊かな自然を観光資源とした地域づくりとともに日本のふるさとを想わせる道路空間の創出を目的に活動しています。



フラワーロードの様子

信州ビーナスライン茅野

令和5年度 関東優秀活動賞（特別賞）受賞

活動名：信州ビーナスライン輝く道づくり

活動内容の紹介

ビーナスラインが県下No.1の観光道路となるよう、沿線の草刈やゴミ拾い等の環境整備を実施し、施設の延命化を図るとともに、この地域を訪れる観光客や利用者にも気持ちよくご活用いただくこと、「ヒトとモノ、心をはぐくむ観光地磨き」を目的として活動しています。



信州ビーナスライン茅野 活動の様子

「千曲川・花の里山風景街道」「信州ビーナスライン茅野」の他にも長野県内で様々な取り組みが行われています。
長野県HP <https://www.pref.nagano.lg.jp/michiken/infra/doro/joho/kaido12.html> にて詳しく掲載しておりますのでご覧ください。

事務局だより

要望活動及び安全・安心の道づくりを求める全国大会への参加（R6.11.26）



国土交通省 沓掛敏夫大臣官房技術審議官



佐々木俊一道路局次長



井出庸生衆議院議員



安全・安心の道づくりを求める全国大会

第24号 (令和7年2月)

発行：長野県道路整備期成同盟会

〒380-8570 長野県長野市南長野字幅下692-2

長野県建設部道路建設課内

電話 026-235-7318

FAX 026-235-7391